

第6回沖縄県アンダー40設計競技 ティードフラッグス2017 応募要項

1. 一般事項

(1) 目的

沖縄県では、県内の若手建築士の育成及び建築技術の向上と発展を図ることを目的として、平成23年度より40歳以下の建築士（志望者を含む）を対象とした設計競技を行っています。

第6回目となる今回の設計競技では、施設の利用形態や建設予定箇所等を提示し、若手らしい自由な提案を求めることとしています。

(2) 概要

平和祈念公園は、沖縄戦終焉の地、本島南部の糸満市摩文仁に位置し、本土復帰後、都市公園として本格的な整備が始まりました。約47haの広大な敷地には沖縄戦の記録写真や遺品などを展示した「沖縄県平和祈念資料館」や沖縄戦で亡くなられた全ての方々の氏名を刻んだ「平和の礎（いしじ）」、戦没者の鎮魂と永遠の平和を祈る「平和祈念像」、そして、「国立沖縄戦没者墓苑」をはじめ、各県の慰霊塔などが建立されています。

開園以来、国内外の観光客をはじめ、慰霊団、修学旅行生などが多く来園する公園であり、休日には、広い芝生でのピクニックやレクリエーションの場として、多くの家族連れで賑わいを見せます。

今回設計競技の対象エリアである第一駐車場は、平成13年の整備当初から来園者に最も利用されているものの、舗装の老朽化が進んでおり、案内表示の少なさ等からスムーズな入退出ができない観光客が時折見受けられます。

さらなる利便性向上及び大型観光バスの園内移動円滑化を図るため、老朽化した駐車場エリアの改修設計を行いました。その整備と一体となって、大型バスで来園する観光客（主に修学旅行生）を優しく出迎え、園内へと誘導する、大型バスの乗降場シェルター（ウェルカムルーフ）を整備します。

この地に相応しいウェルカムルーフの施設整備をご提案下さい。

(3) 対象建物

平和祈念公園ウェルカムルーフ

(4) 設計競技の主催者等

ア 主 催：沖縄県

イ 後 援：・一般社団法人沖縄県建築士事務所協会
・公益社団法人沖縄県建築士会
・一般社団法人沖縄県設備設計事務所協会

(5) 日程

区 分	
応募要項・申込様式等配布	平成29年10月18日(水)～
応募登録申し込み受付期間	平成29年10月18日(水)～平成29年11月6日(月) ※郵送の場合は最終日必着。
質疑受付期間	平成29年10月18日(水)～平成29年11月6日(月)
質疑に対する回答	回答は沖縄県アンダー40設計競技ティードフラッグス2017ホームページにて随時掲載します。
応募作品受付期間	平成29年11月8日(水)～平成29年12月7日(木) ※郵送の場合は最終日必着。
1次審査結果発表	平成29年12月中旬(予定) ※沖縄県アンダー40設計競技ティードフラッグス2017ホームページで結果発表するとともに、入選者には直接連絡します。
最終審査及び結果発表	平成30年1月18日(木) 会場：沖縄県立博物館・美術館 講堂
その他のスケジュール	平成29年度中に実施設計を完了予定 平成30年度に整備工事予定

(6) 応募条件

応募について、一般の方はアとウ、学生の方はイとウを満たすこと。

ア 応募資格(一般)

(ア) 応募者に関する資格

- a 応募者(連名の場合、連名者すべて)が平成29年10月18日に満40才以下であること。
- b 応募者(連名の場合、連名者すべて)が次の(a)、(b)いずれかの要件を満たすこと。
 - (a) 沖縄県内に住所を有していること。
 - (b) 沖縄県内に本籍地があること。
- c 応募者(連名の場合、連名の代表者)は、一級建築士又は二級建築士の資格取得者であること。
- d 応募者(連名の場合、連名の代表者)は、1-(6)-ア-(イ)に掲げる要件を満たす法人等に所属していること。

(イ) 応募者(連名の場合、連名の代表者)が所属する法人等に関する要件

- a 応募者が所属する法人等が、次の（a）、（b）、（c）全ての要件を満たすこと。
 - （a） 沖縄県内に主たる営業所があること。
 - （b） 沖縄県土木建築部における、平成29・30年度測量及び建設コンサルタント等業務入札参加資格登録業者名簿に建築関係コンサルタントとして、登録が有効であること。
 - （c） 1名以上の一級建築士を有すること。
 - b 応募登録申込書の提出期限最終日から特定日までの期間において、沖縄県の工事等契約に係る指名停止等の措置要領に基づく指名停止がなされていないこと。
 - c 警察当局から、暴力団員が実質的に支配する建設業者又はこれに準じるものとして、沖縄県土木建築部発注工事等からの排除要請があり、当該状況が継続している者でないこと。
- イ 応募資格（学生）
- （ア） 応募者に関する資格
 - a 応募者（連名の場合、連名者すべて）が平成29年10月18日に満40才以下であること。
 - b 応募者（連名の場合、連名者すべて）が次の（a）、（b）全ての要件を満たすこと。
 - （a） 沖縄県内の大学及び専門学校等で、建築系の学科等に在籍していること。
 - （b） 金賞の受賞者（連名の場合、連名者すべて）は、別途委託契約により受注した設計事務所との実施設計業務（（7）.クを参照）に参画すること。
- ウ 応募に対する制限
- 応募者は、1件のみ応募することができる。なお、応募1件につき、提案は1つまでとする。
- 提案書及びプレゼンテーションは、日本語で実施することとする。
- （7） コンペの形式等
- ア 本設計競技の選考は、課題解決力、デザイン力、実現可能性（工事費、維持管理費含む）等を含む総合的な視点から、「ティードフラッグス2017選考委員会」（以下、委員会という。）が審査を行い、金賞1点、銀賞1点、銅賞数点を決定します。
 - イ 2段階選抜方式とします。
 - ウ 1次審査では匿名非公開で提案書を審査し、入選案を選抜します。
 - エ 最終審査でのプレゼンテーションと委員会による質疑応答によって提案の内容を公開で審査し、即日で審査結果の公表を行います。
 - オ 各賞とも募集作品に優れた作品が無いと判断した場合は、該当作品無しとします。
 - カ 金賞の設計者又は所属事務所は、県と設計業務の委託契約を行い、審査で提案されたコンセプト等を活かしながら、施設管理者等の意見を踏まえ、より魅力的な施

設整備に向けて設計業務を実施することとします。

キ 金賞受賞者が連名による応募者であり、かつ、それぞれの連名者が所属する法人等が異なる場合には、県との設計業務委託契約に関し、受注形態（法人単体又は設計共同体の結成）について、当該法人等間において協議することとします。

ク 金賞受賞者が学生の場合は、別途委託契約により受注した設計事務所との実施設計業務に参画すること。この場合においても、（７）．カが適用されます。

ケ 設計予定者に起因する理由等により設計業務の契約を行わない場合もあります。

この場合、次点の設計者及び所属事務所と契約を行うこととします。

次点が学生の場合は、（７）．クに準じて、実施設計を行います。

(8) 賞金

沖縄県では、若手建築士等が県外、海外の優れた建築作品を訪れる機会を支援することを目的として、コンペ入賞作品を対象に賞を設けることとしました。

金賞 1点 旅行券 20 万円分

銀賞 1点 旅行券 10 万円分

銅賞 数点 各旅行券 5 万円分

※各賞とも 1 作品に贈賞させていただきます。

2. 設計条件

(1) 計画概要

ア ウェルカムルーフ

第一駐車場の改修計画と一体となった、大型バスの乗降場シェルター（ウェルカムルーフ）を整備します。

イ 実現性

提出された設計案をそのまま建設するわけではありませんが、実施設計に反映できる計画としてください。

(2) 必要要件と概算工事費等

ア 規模条件等

(ア) 床面積等

a 延べ面積、構造、階数 整備提案書を参照の上、適宜決定すること

b 整備位置 第一駐車場内 ※詳細については、整備提案書を参照すること

(イ) 必要な機能

a 利用形態

(a) 大型観光バス来園時の乗降に利用

b ウェルカムルーフの必要条件

(a) 日射を遮ること。雨を防ぐこと。

(b) 大型観光バス（駐車ます：13m×3m、間隔 6m、H=4.5m）7 台が同時

に利用できること。

(c) 公園の景観及びライフサイクルコストに配慮すること。

イ 概算工事費

① 概算工事費 150,000 千円を上限とします。概算工事費には建築工事費、外構工事費、工事に係る諸経費、消費税及び地方消費税相当額を含むものとします。なお、今回電気工事、機械工事はありません。

(※概算工事費を上回ることが想定される提案については、失格となる可能性があるので留意すること)

② 実際の整備費が概算工事費を上回ることをないように努めること。

(※県と設計業務の契約を行った者は、工事費の積算段階で概算工事費を上回らないように、自らの責任をもって、業務遂行に努めること)

ウ その他

公園内での計画であるので、関係法令に留意すること。

ウェルカムルーフの設置位置の影響範囲以外は、整備しないこと。

(3) 計画地

所在地：平和祈念公園内（第一駐車場）

〒901-0333 沖縄県糸満市字摩文仁 444 番地

敷地面積：約 1 ha（ただし、計画地内は図示の範囲）

用途地域：公園区域

(4) その他

公園内の利用は、8時～18時を基本としてください。

台風時の風害、塩害、耐候性等に配慮してください。

3. ティーダフラッグス 2017 選考委員会

選考委員：琉球大学工学部工学科教授

選考委員：有限会社 伊礼智設計室（東京） 代表取締役 伊礼 智

選考委員：公益社団法人沖縄県建築士会 会長

選考委員：一般社団法人沖縄県建築士事務所協会 副会長

選考委員：公益社団法人日本建築家協会沖縄支部 副支部長

選考委員：一般社団法人沖縄県設備設計事務所協会 会長

選考委員：平和祈念公園指定管理者

選考委員：沖縄県土木建築部建築都市統括監 嘉川 陽一

※選考委員長は委員の中から互選により決定予定

4. 手続き等

(1) 担当事務局

沖縄県土木建築部施設建築課 企画班 〒900-8570 那覇市泉崎 1-2-2
TEL : 098-866-2416 FAX : 098-867-3314 E-mail : aa066508@pref.okinawa.lg.jp
ティータフラッグス 2017 ホームページ (沖縄県土木建築部施設建築課 HP 内)
<http://www.pref.okinawa.jp/site/doboku/shisetsu/kikaku/compe/h29compe.html>

(2) 応募登録

ア 応募登録受付期間内に、応募登録申込書(様式1)を(1)の事務局まで提出してください。なお、連名の場合、連名の代表者以外の者で、一級又は二級建築士の資格を有しない者がいる場合は、その者の生年月日が確認出来る書類(運転免許証の写し等)を添付すること。

学生による応募の場合には、連名者も含めて応募登録申込書(様式2)及び学生証の写しを提出してください。

イ 提出方法 事務局に持参又は事務局あて郵送

ウ 受付期間：平成29年10月18日(水)～平成29年11月6日(月)までの平日
9:00 から 17:00 まで。ただし、郵送の場合は、配達記録が残るものに限ることとし、受付期間最終日時必着とします。

エ 受付後、応募者に電子メールにより登録完了の旨通知します。

(応募申込書提出後、11月7日(火)までに登録完了の通知がない場合は、事務局までご連絡ください)

(3) 質疑受付

ア 質疑受付期限までに、質疑書(様式3)を(1)の事務局まで提出してください。

イ 提出方法 事務局あて FAX 又は持参

ウ 受付期間：平成29年10月18日(水)～平成29年11月6日(月)まで

エ 回答はティータフラッグス 2017 ホームページにて随時、掲載します。

(4) 提案書提出

ア 次の(ア)～(ウ)それぞれ3部と(エ)1部を(1)の事務局へ提出して下さい。

(ア) 設計図面、パースなど設計意図を表現したもの(A3用紙・片面横使い)2枚

(イ) 作品提出届(様式4)

(ウ) 概算工事費内訳表(様式5) 提案にかかる概算工事費をご記入下さい。

(エ) 提案書の画像データ(pdf、jpegそれぞれをCDに書き込み提出ください。)

※提案書には設計者氏名等が推測できる記述を行わないでください。

※提案書は、県のホームページ等で使用することがあります。

イ 提出方法等

提出先：4.(1)に同じ

受付期間：平成29年11月8日(水)～平成29年12月7日(木)までの平日
9:00 から 17:00 まで。ただし、郵送の場合は、配達記録が残るも

のに限ることとし、受付期間最終日時必着とします。

5. その他

- (1) 本設計競技に係る登録料は無料です。ただし、応募、質疑及び提案図書提出、最終審査等に関する費用は応募者の負担となります。
- (2) 実施設計業務委託に伴う作品の著作権は、本県に帰属するものとします。
- (3) 応募者が次の各号いずれかに該当したときは応募登録を取り消します。
 - ア 応募作品提出期限に遅れた者、または提案図書に不備がある者。
 - イ 応募登録申込書及び提案図書に虚偽の記載をした者。
 - ウ 応募作品に記名又は応募者が特定できるサイン等が記入され、あるいは1次審査以前に応募作品を特定できるような行為を行ったとき。
 - エ 応募作品が第三者の著作権、意匠権などを侵害しているとき。
 - オ 本設計競技に関して、最終審査のプレゼンテーション以前に審査委員との接触があったとき。
 - カ 最終審査に応募者が欠席した場合。
 - キ その他、委員会が不適合と判断した場合。
- (4) 提出物等は一切返却できません。また、訂正、差し替えも行えません。
- (5) 提出された全作品は、一次審査結果発表後から年度末まで、4.(1)の事務局窓口にて閲覧に供します。
- (6) 入選案（一次審査を通過した作品）は、結果発表後、提案書等をティーダフラッグス2017ホームページに掲載します。
- (7) 最終審査でのプレゼンテーションは、発表時間7分を予定しています。
なお、会場ではプロジェクター等の使用も可能です。
- (8) この要項に定めることのほか、本設計競技に必要な事項が生じた場合、事務局と委員会との協議の上、応募者に通知するとともにティーダフラッグス2017ホームページ上に掲載します。



沖縄県アンダー40設計競技は、様々な関係者の皆様のご支援により6回目を迎えることができました。今後も若手建築士にとって、本設計競技がひとつの登竜門として根付いて欲しいという願いをこめ、第5回開催時より愛称を「ティーダフラッグス」としております。

太陽の下、たなびく三角旗は、若者の持つ情熱、力強さを表すとともに、参加者にとっては、己の力量をためす一つの目標であり、競争であることを示しています。そして、設計競技に参加するそれぞれが、これからの建築士人生のフラッグ(アイデンティティー)を発見して欲しいという想いが込められています。